

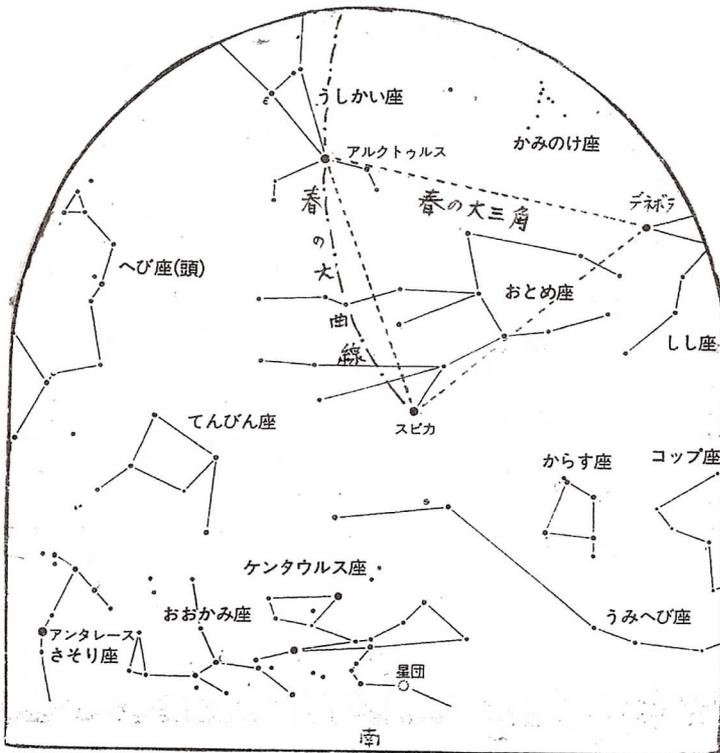
☆ 6月の太陽・月の時刻表と月齢

※下の表は黒石市役所での日の出・日の入・月の出の時刻と、午後9時の月齢と形を表したものです。(30秒未満は切り捨て、30秒以上は繰り上げ)

日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	
1	4:08	19:03	15:52	12.8	○	11	4:05	19:09	0:12	22.8 下弦	21	4:06	19:13	6:20	3.3
2	4:08	19:04	17:03	13.8	○	12	4:05	19:10	0:36	23.8	22	4:06	19:13	7:22	4.3
3	4:07	19:05	18:18	14.8	○	13	4:05	19:10	0:59	24.8	23	4:06	19:14	8:25	5.3
4	4:07	19:05	19:33	15.8	満月	14	4:05	19:11	1:22	25.8	24	4:06	19:14	9:26	6.3
5	4:07	19:06	20:44	16.8	○	15	4:05	19:11	1:48	26.8	25	4:07	19:14	10:27	7.3
6	4:06	19:07	21:45	17.8	○	16	4:05	19:12	2:17	27.8	26	4:07	19:14	11:27	8.3 上弦
7	4:06	19:07	22:35	18.8	○	17	4:05	19:12	2:52	28.8	27	4:07	19:14	12:29	9.3
8	4:06	19:08	23:14	19.8	○	18	4:05	19:12	3:34	0.3 新月	28	4:08	19:14	13:34	10.3
9	4:05	19:08	23:45	20.8	○	19	4:05	19:13	4:23	1.3	29	4:08	19:14	14:42	11.3
10	4:05	19:09	--:--	21.8	○	20	4:05	19:13	5:19	2.3	30	4:08	19:14	15:54	12.3

月の図は白い部分が光っているところ、黒い部分が欠けているところを表しています

月も地球も動いている関係で、月が出る間隔は平均して約24時間(1日)と51分くらいです。よって、前日の深夜かなり遅く出れば、その日は出なくて、次の日の深夜かなり早い時刻に出ることになります。

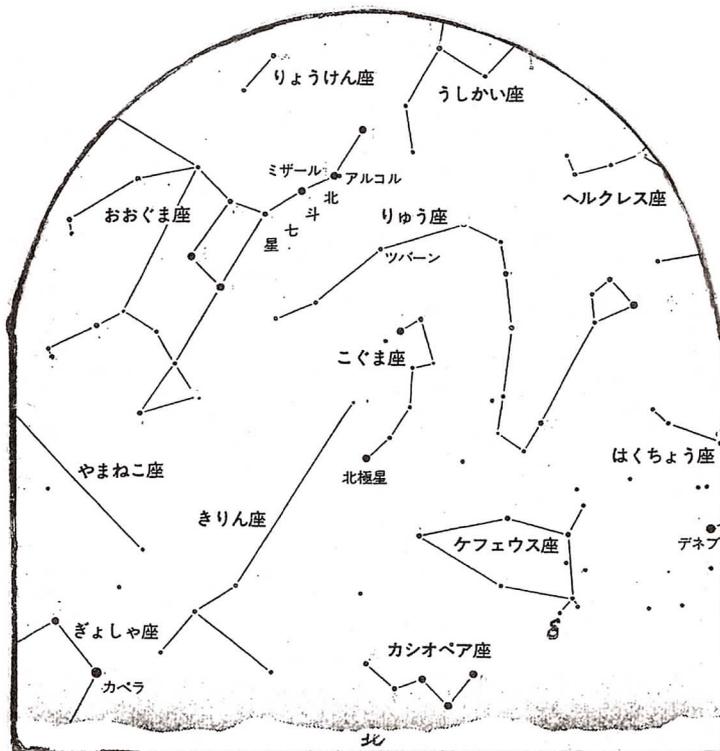


南の星空

先月の夕食後のころは、南東方向の空にいたおとめ座が、真南よりやや西側に移って、たいへん見やすいところになりました。

南の空に向かって右隣のしし座に近い方が乙女の頭にあたり、全体として寝ているような形に見えます。

また、うしかい座のアルクトゥルスは北斗七星のスプーンの柄をのぼしたところとあり、その線をさらにのぼしたところにおとめ座のスピカがあって、他の星座をさがすのにたいへん役立ちます。



北の星空

北極星を含むこぐま座の小さなスプーンが高くなり、おおぐま座の北斗七星が北西に向かって降りてきました。その2つの間に長い尾をのぼしているのがりゅう座です。尾から胴、そして、四角の頭まで大きく曲がりながら続いているのがたいへんよく分かります。

また、ケフェウス座のδと書かれている星は、約2日半ごとに明るさが4等から5等まで変わる変光星です。